

# M A K I N G M A D I F F E R E N T

aikanyama

Curation Practice  
Curation Basic  
Art + Communication  
Artist Magazine  
Special Courses  
Art Audience

School of

Contemporary

# A A R T

コース・ディレクター=小澤慶介(AIT)/ロジャー・マクドナルド(AIT) 講師(敬称略・50音順)=天野太郎(横浜美術館 主席学芸員)/飯田志保子(東京オペラシティアートギャラリー キュレーター)/五十嵐太郎(建築評論家)/池田修(BankART1929 代表)/今福龍太(東京外国語大学大学院 教授)/遠藤水城(アークス・プロジェクト ディレクター)/小沢有子(AIT)/木奥恵三(フォトグラファー)/北川フラム(アートフロントギャラリー 主宰/地中美術館 総合ディレクター/新潟市美術館 館長)/木ノ下智恵子(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター 特任講師/神戸アートビレッジセンター 美術プロデューサー)/郷泰典(東京都現代美術館 教育普及係 学芸員)/古平正義(アートディレクター)/小山登美夫(小山登美夫ギャラリー 代表)/杉田敦(美術批評家/女子美術大学 准教授/オルタナティブ・スペース art & river bank ディレクター)/住友文彦(東京都現代美術館 学芸員/AIT)/塚本由晴(建築家/アトリエ ワン)/辻憲行(フリーランス・キュレーター)/永吉文子(SCAI THE BATHHOUSE)/南條史生(森美術館 館長)/西川美穂子(東京都現代美術館 学芸員)/長谷川祐子(東京都現代美術館 事業企画課長)/藤浩志(美術家)/宮崎香菜(BT/美術手帖 編集部)/毛利嘉孝(東京藝術大学 准教授)/森弘治(アーティスト)/柳下朋子(ARTiT 編集部)/吉本光宏(ニッセイ基礎研究所)

organized by

# A R T S I N I T I A T I V E T O K Y O

# アートを深めるための5つの基本コースと、現代という時代性を読み解く 30のフリー・ブロック(選択講座)で、自分なりの「現代アート」を見つけよう。

MAD (Making Art Different =アートを変えよう、違った角度で見てみよう)は、NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]が2001年に開講した、独自の講義と現場の議論を重視するエデュケーション・プログラムです。2008年度のMADは、国際的なアート界の複雑な構造と社会の関係、そしてそこで起こっている議論に注目します。キュレーターやギャラリスト、アーティストなど、現代アートの現場に携わっている専門家をゲストに迎え、社会学や哲学思想などを踏まえながら、今日の現代アートに、より多角的に、深く、体系的に迫ります。

5つの基本コースは、現代アートを巡るさまざまな知的好奇心に応える大学院レベルのプログラムです。受講生は各コースの必修レクチャーのほかに、フリー・ブロックとよばれる選択講座から指定された数の講座を受講することができます。レクチャーは、すべてAITルーム(代官山)で行われます。

## キュレーション・プラクティス(実践)“展覧会を制作する”

キュレーション(展覧会の企画・制作)の理論や美術史、あるいは社会学や哲学思想などをとおして、今日のキュレーションについて広く議論・考察する。その上で、グループごとに展覧会やプロジェクトの企画立案を行い、実現することを目的とするコース。テーマの設定、アーティストの選択から予算組み、運営まで、キュレーションに関する必要不可欠な作業を総合的に経験する。

2008年4月開講/12ヶ月コース/定員12人/¥229,950(税・諸費用込)

## キュレーション・ベーシック(基礎)“現代アートと時代を読み解く”

キュレーションの理論や美術史、あるいは社会で起こっている議論などをとおして、現代アートと時代や社会との関係性を考える。その上で、キュレーションにおけるテーマや形式の可能性、あるいは美術史やアーティストの解釈についての研究を行い、発表するコース。

2008年4月開講/12ヶ月コース/定員20人/¥201,600(税・諸費用込)

## アート+コミュニケーション“現代アートと社会をつなぐ”

前期の「美術史編」では、20世紀の美術史の基礎知識を身につけ、後期の「公共と美術編」では、日本の美術を取り巻く状況と実践を学ぶ。また、東京都現代美術館においてワークショップも行い、アートの現場を体験する。「美術史編」のみ、「公共と美術編」のみ、あるいは両方の3パターンで受講可。

2008年4月(「美術史編」)・9月(「公共と美術編」)開講/各4ヶ月コース/定員各20人/¥79,800(税・諸費用込)

## アーティスト“「アーティスト」として活動するために”

「美術界」や「アーティストの自立的な活動」などについてのレクチャーと、キュレーターや美術評論家をゲストに交えて行う模擬プレゼンテーションをとおし、作品の理論的バックアップやプレゼンテーションスキルを学ぶ。

2008年4月・9月・2009年1月開講/各3ヶ月コース/定員各12人/¥38,850(税・諸費用込)

## マガジン“世界のアートシーンを知る”

海外のアート雑誌やウェブの英文記事を読み、ディスカッションを行うことで、世界各地で展開する現代アートの「いま」を読み解く。アート・マーケットの情報や、独特な視点で書かれているアーティスト評や展覧会評などで、日本のアート雑誌ではなかなか触れることのできないアートの一面に迫る。

2008年4月・9月・2009年1月開講/各3ヶ月コース/定員各12人/¥36,750(税・諸費用込)

### 集中講座 NEW

短期間に特定のテーマについて専門的な知識を習得したい方を対象としたコース。2008年度は、ニュー・メディア・アート、絵画、都市、アジアの現代アート、写真をテーマに5講座を開講。(フリー・ブロックは受講することができません。)

### デイトタイム講座：アート・オーディエンス NEW

もっと気軽に現代アートを楽しみたいという方を対象に、新設された昼間のコース。レクチャーと美術展見学で構成され、現代アートを知るきっかけが満載。春・夏・秋の3講座を開講。(フリー・ブロックは受講することができません。)

### MAD2008 無料説明会「MADオープンデー」

各コースの概要説明後、質問を受け付けます。クラス見学会は行っておりませんので、この機会をご利用ください。

開催日時：2008年1月25日(金)19:00~20:30/2月15日(金)19:00~20:30/2008年3月7日(金)19:00~20:30

### MAD2008 資料請求・お問い合わせ/「MADオープンデー」のお申し込み

件名を「MAD2008資料請求」あるいは「MADオープンデー参加希望」とし、住所、氏名、電話番号、興味のあるコース名を明記したメールを、office@a-i-t.netまでお送りください。資料をご請求の方には、後日、プログラムの詳細が掲載されているリーフレットとお申し込み用紙をお送りします。www.a-i-t.netでも詳細がご確認いただけます。

Arts Initiative Tokyo [AIT/エイト]とは？

AITは、キュレーターやアート・オーガナイザー6名が、現代アートと視覚文化を考えるための場作りを目的として、2001年に設立したNPO団体です。個人や企業、財団あるいは行政と連携しながら、現代アートの複雑さや多様さ、驚きや楽しみを伝え、それらの背景にある文化について話し合う場をさまざまなプログラムをとおして創り出しています。

特定非営利活動法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]

150-0033 東京都渋谷区猿楽町30-3 ツインビル代官山A-502 E-mail: office@a-i-t.net Tel: 03-5489-7277 Fax: 03-3780-0266 http://www.a-i-t.net